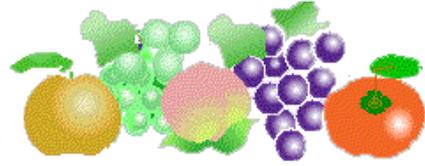


令和4年度 しらかわ果樹情報第13号



令和4年11月17日
福島県県南農林事務所農業振興普及部

1 気象概況（表1）

10月5半旬から11月2半旬までの平均気温は10.5℃で平年より0.5℃低くなりました。また、この期間の降水量は0.5mmで平年の0.7%とかなり少なくなりました。日照時間は143.3時間で平年の141.2%となりました。

表1 月別気象表（白河市）

平年：1981～2010年

月	半旬	平均気温（℃）			最高気温（℃）			最低気温（℃）			降水量（mm）			日照時間（hr）		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比（%）	本年	平年	平年比（%）
10	5	11.5	12.6	-1.1	17.4	17.5	-0.1	6.2	8.2	-2.0	0.5	24.2	2	23.6	22.9	103
	6	9.8	11.5	-1.7	16.7	16.7	0.0	3.9	6.9	-3.0	0.0	22.3	0	56.8	29.1	195
11	1	11.3	10.5	0.8	17.3	15.9	1.4	6.3	5.7	0.6	0.0	11.8	0	21.4	25.0	86
	2	9.5	9.6	-0.1	17.4	14.9	2.5	2.8	4.8	-2.0	0.0	10.3	0	41.5	24.5	169
平均・合計		10.5	11.1	-0.5	17.2	16.3	0.9	4.8	6.4	-1.6	0.5	68.6	0.7	143.3	101.5	141.2

2 向こう1か月の天候の見通し（11月12日から12月11日まで）

寒気の影響を受けにくいと見込め、向こう1ヶ月の気温は高い見込みです。週別の気温について1週目（11/12～11/18）は高い確率が70%、2週目（11/19～11/25）は高い確率が50%、3～4週目（11/26～12/9）は低い確率が40%です。

3 生育概況

（1）「ふじ」の果実肥大

暦日・満開後日数比較ともに、平年より大きい状況です（表2、図1）。

表2 白河管内の果実肥大状況
（11月1日時点）

	ふじ	
	縦径	横径
今年（mm）	85.0	92.3
平年（mm）	78.8	86.7
平年比（%）	108	107
昨年（mm）	77.2	89.1

注）調査地点：白河市本沼

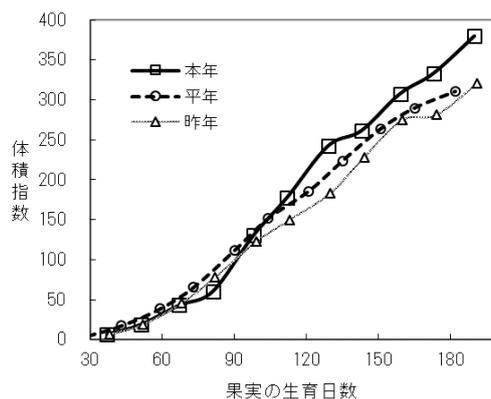


図1 リンゴ「ふじ」の果実肥大経過

4 栽培上の留意点

（1）リンゴ

ア 「ふじ」の収穫

収穫は、蜜入りの状態に加え、果実の着色、地色及び食味等により総合的に判断する。

5 病虫害防除上の留意点（使用薬剤は防除暦を参照してください。）

【収穫期に入っているため、薬剤防除は収穫前日数に十分注意しましょう！】

(1) 病害

ア ナシ黒星病

- ・秋期防除は、翌年の伝染源となるりん片への感染を予防するのに重要であり、特に、りん片生組織の露出が多くなる時期（昨年の県南管内では10月中旬～11月上旬）が重要な防除時期である。
 - ・薬剤散布は、落葉率80%頃を最終散布の目安とし、オーソサイド水和剤80 600倍を当該時期に2週間間隔で2～3回散布（キャプタンの総使用回数に留意）する。散布に当たっては、降雨前防除を徹底し、薬液が棚上まで分量かかるよう丁寧に散布する。
 - ・果樹研究所の10月31日の「幸水」生育調査樹の予備枝におけるりん片生組織の露出芽率は37.3%であり、10月21日の17.7%から2倍程度に増加した。
- ◎県南管内においても、11月1日の「幸水」のりん片生組織露出芽率は6.3%であり、10月11日の3.0%から2倍程度増加した（表3）。

○落葉処理○

- ・園内外の秋型病斑が見られる罹病葉を含む落葉は、翌年の伝染源となるため、丁寧に集めて土中に埋めるなど適切に処分するか、乗用草刈機による粉碎処理（図2）により、落葉が500円玉程度の大きさになるまで最低2回粉碎する（図3）。

＜粉碎処理のポイント＞

- ・葉が乾いている方が粉碎しやすいため、降雨前に行う。
- ・園地周囲や幹本、支柱周りの落葉は熊手などで乗用草刈り機の走行路にかき出してから粉碎処理を行う。
- ・処理前に落葉が下草に絡まる5～7cm程度に草刈りを行う。草刈りをしないで処理を行うと粉碎が不十分となる。
- ・乗用草刈り機は刈り高を3cm程度と低く設定し、10a当たり約45～60分で走行する。
- ・1回目の処理後、1週間程あけて2回目の処理を行い、葉を完全に粉碎する。

今週か、遅くとも来週中に1回目の落葉処理を行い、次週天気の良いときに2回目を行うと良いです！



図2 粉碎処理の状況



図3 粉碎処理の目安

表3 白河市における秋期防除時期に関わるデータ

調査日	落葉率 (%)	りん片生組織露出芽率 (%)	黒星病（夏型病斑）発病葉率 (%)
10月11日	2.5	3.0	1.6
11月1日	45.7	6.3	1.4

注) 調査地点：白河市東上野出島

6 生育調査結果（11月1日現在、福島県農業総合センター果樹研究所）

（1）リンゴ

ア 「ふじ」の果実肥大

- ・縦径が88.4mm（平年比104%）、横径が91.9mm（平年比101%）で、暦日・満開後日数比較ともに平年並である。

イ 収穫状況

- ・「シナノスイート」の収穫盛期は10月10日と平年並で、昨年より2日早くなった。果実の大きさは342gで平年並、糖度は14.6° Brixで平年並であった。
- ・「王林」の収穫始期は10月24日と平年並で、昨年より5日遅くなった。10月31日（満開後192日）収穫時の果実品質（参考値）は、果実の大きさが327gで平年よりやや大きく、糖度は14.3° Brixで平年並だった（表4）。

表4 リんごの収穫状況

品種	収穫開始日			収穫盛期			収穫終期			果実重(g)			糖度(° Brix)		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
つがる	8/29	8/27	8/24	8/31	8/31	8/27	9/ 2	9/ 6	8/31	302	285	304	12.8	12.4	13.8
シナノスイート	10/6	10/6	10/5	10/10	10/10	10/12	10/12	10/15	10/19	342	344	340	14.6	14.7	15.3
王林	10/24	10/24	10/19	未	10/26	10/21	未	10/30	11/1	327	310	317	14.3	14.2	13.5
ふじ	未	11/14	11/4	未	11/17	11/13	未	11/25	11/25	未	358	346	未	15.5	15.4

注) 平年値は、1991～2020年（「シナノスイート」は2012～2020年）の平均。下線の値は、参考値。
「つがる」はM.26台、「シナノスイート」「王林」「ふじ」はマルバカイドウ台

ウ 「ふじ」の成熟状況（10月31日、満開後189日現在）

- ・硬度は11.4lbs.で平年より低く（図4）、デンプン指数は4.3で平年よりやや低かった（図5）。果皮に含まれるクロロフィル含量、アントシアニン含量は平年より低かった（図6、7）。

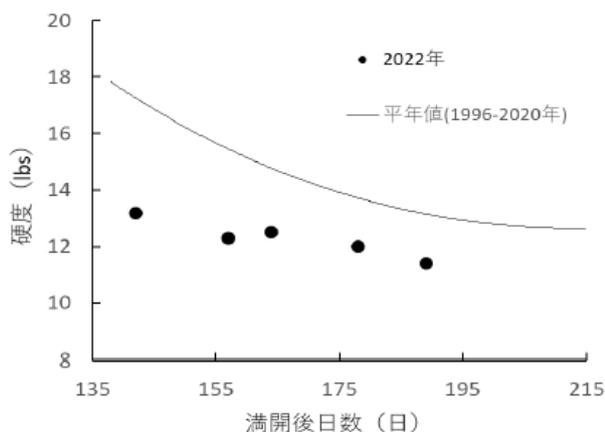


図4 「ふじ」の果実硬度の推移

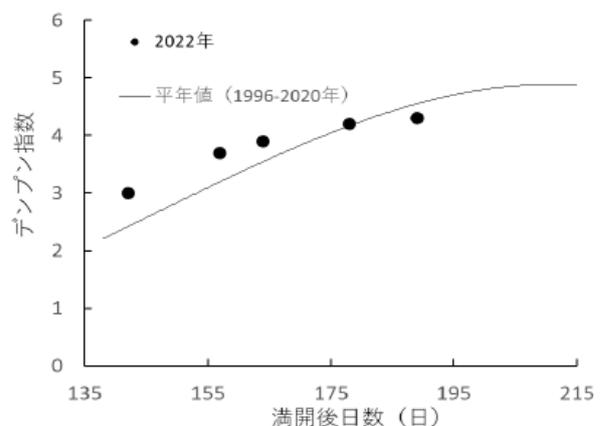


図5 「ふじ」のデンプン指数の推移

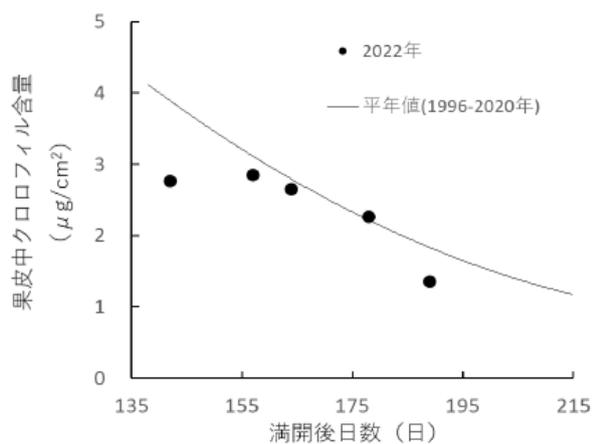


図6 「ふじ」の果皮中クロロフィル含量の推移

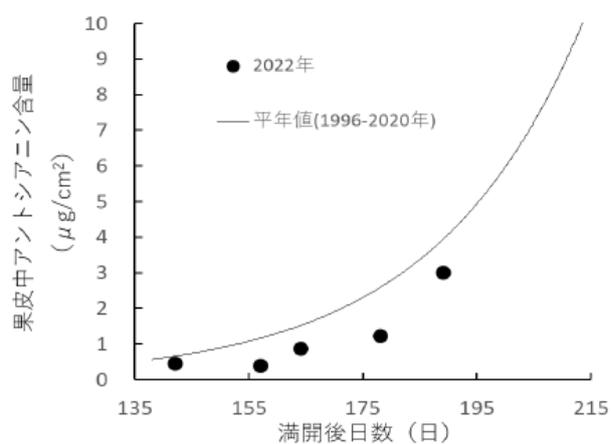


図7 「ふじ」の果皮中アントシアニン含量の推移

エ 「ふじ」の裂果発生状況（10月31日、満開後189日現在）

- 「ふじ」/マルバ台果実の外部裂果率は20.0%であった。内部裂果発生率は36.7%と過去2年間と比較して少ない傾向であった(表5)。

表5 「ふじ」の満開後189日頃における裂果発生状況

調査樹	樹齢	外部裂果率 (%)				内部裂果発生率 (%)			
		2022年	2021年	2020年	2019年	2022年	2021年	2020年	2019年
ふじ/マルバ台	20	20.0	20.0	-	13.3	36.7	40.0	-	50.0